



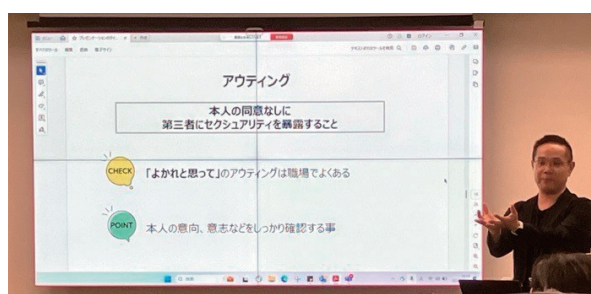
Joy for Life

株式会社 J-オイルミルズ

J-オイルミルズは、マテリアリティに紐づく取り組み・人財ポリシーを体現するために、キーワードとして「DE&I」を掲げています。ジェンダー・年齢・国籍・キャリア等の違いに関わらず、従業員一人ひとりが“自分らしさを活かしながら働きたい、挑戦・成長したい”など、多様な想いを叶える場がJOYLであるとともに、公平に機会が与えられ、一人ひとりの最大限の活躍によって、社会への価値創出・会社の成長を目指しています。

人権方針・行動規範

人権方針ならびに行動規範において性的指向・性自認等に基づく差別待遇や嫌がらせがないよう職場環境を整備することを明記し、誰もが安心して働くことができる職場環境の整備に取り組んでいます。



トップメッセージの発信

LGBTQ+の方々を含むすべての人々が自分らしく、安心して働ける社会を築くために、一人ひとりが正しい知識を持ち、寄り添っていただけるよう、トップメッセージを社内に向けて発信しました。

LGBTQ+セミナー

アウト・ジャパン様ご協力のもと役員、管理職向けLGBTQ+セミナーを開催し、LGBTQ+の取り組みの重要性やAllyについてお話いただきました。また当事者の方から職場での体験談を語っていただきました。



映画上映会の開催

LGBTQ+をテーマにした「Veils」を上映し、参加者同士で意見交換を行いました。また、上映会と合わせミニセミナーも開催しLGBTQ+について知識を深めました。

LGBTQ+ 映画上映会 開催報告 (2024/11/19 聖路加開催)

LGBTQ+理解促進のためのイベントとして、LGBTQ+映画上映会を開催しました。当日は21名が参加し、第1部はLGBTQ+に関するミニセミナーを開催、第2部では映画上映会「Veils」を観映し、映画の感想や自身の体験談を交えて、グループに分かれ意見交換しました。グループディスカッションでは映画の中であった日常でもよくあるシーンについて、自分でも同じ発言をしてしまっているのか、当事者が働かない表現は？など、どのグループも活発に議論していました。終了後のアンケートでは、当社のLGBTQ+の取り組みにおいて重要なのは「多様性に関する一人ひとりの理解」が最も高く、このような取り組みは継続して実施することが必要だと感じました。今後、工場での開催も検討してまいりますので、募集時にはぜひご参加ください。

第1部 ミニセミナー	アンケート
＜内容＞ ・LGBTQ+とは ・性的指向/性自認に関するハラスメント ・ヤブアウティング ・カンパウトへの対応 ・LGBTQ+当事者に寄り添うアライ	＜ミニセミナーにてLGBTQ+に関する基本的な知識を得てから映画を観映したことによって、より自分事として考えることができたと感じた。ディスカッションでは参加者の思いを共有し、意見交換ができた。今後自分自身で何をできるか、自分が分らないと生かされる社会を築くためにはどうするかを真剣に考えるきっかけになった。＞ ・私自身、結婚は男性と女性ができるものという潜在意識があり、友人に指摘されたことがありました。今回、LGBTQ+の方の映画を通して、当事者ではない人はそのような意識、当事者が働いていやすくなるのか、を考えるきっかけになりました。 ・ディスカッションにおいて他の人の感じ方がそれぞれ違うことを認識でき、様々な視点で考えるきっかけになった。 ・1人ではあまり理解できなかったLGBTQ+のテーマの映画をみられ、また同じ映画を見てもらうポイントが少しづつ違うことを実感できた。
第2部 映画上映「Veils」 ～あらすじ～ 同僚からのスズアンのカミングアウトが日々の中でLGBTQ+当事者としての意識を高め、結婚や出産を希望するようになったが、LGBTQ+対応可能な職場に就くことができなかった。2人は幸せな結婚を築くことができるのか。	アライ (当事者に寄り添う人) 「アライコミュニティ設立時にアライとして参加したいと思うか」という設問に対し、7割が参加したいとの回答がありました。

LGBTQ+に関する情報発信

LGBTQ+に関わるイベントの実施後には実施内容をまとめ、従業員一人ひとりに情報が提供できるよう全社に向け発信しています。